

Centers for Disease Control and Prevention

Questions & Answers

2009 年 H1N1 インフルエンザワクチン*(新型インフルエンザワクチン)

(*訳注:ここでは新型インフルエンザワクチンとしています)

2009/11/5 10:30 AM ET

2009 年新型インフルエンザワクチンはどのような方が接種を受けるべきですか？

CDC 米国予防接種諮問委員会 (ACIP: Advisory Committee on Immunization Practices) はある種のグループに属する方へ優先的に新型インフルエンザワクチン接種を行うことが望ましいとしました。このグループには妊婦、6 ヶ月以下のお子さんと一緒に生活する・ケアに当たるもの、医療・救急医療従事者、6 ヶ月～24 歳の年齢に相当するもの、免疫不全や慢性疾患などを有する 25 歳～64 歳の方が含まれます。

米国予防接種諮問委員会はこれとは別に季節性インフルエンザを受けるべきものについての勧告を行いました。<http://www.cdc.gov/flu/keyfacts.htm>

新型インフルエンザワクチンは既に開発されていますが、当初の供給量は限られています。このため、米国予防接種諮問委員会は下記のグループに属するものへ優先的に接種を受けることを勧めています。

妊婦、6 ヶ月以下のお子さんと一緒に生活する・ケアに当たるもの、患者と直接接触のある医療・救急医療従事者、6 ヶ月～4 歳の年齢に相当するもの、5 歳未満でインフルエンザ関連合併症を引き起こす可能性の高い持病等を有するもの。リスクの高い小児についてのさらに詳細な情報は次のアドレスでご確認ください。

<http://www.cdc.gov/h1n1flu/childrentreatment.htm#1>

委員会は地域レベルでの需要と供給を評価する必要があるとしており、これらの集団へ地域レベルでワクチンが行き渡った後には 25～64 歳の全てのものにワクチンを接種すべきであると勧告しています。

現在のところ 65 歳以上の感染リスクは若年者のグループに比べ低いと考えられています。このことから、若年者へのワクチン需要と供給が満たされた後に、65 歳以上のものにワクチンを勧めるべきとしています。

2 回接種は必要ですか？

U.S Food and Drug Administration(FDA)は 10 歳以上へは 1 回の接種で良いとしています。これは季節性インフルエンザの接種と若干異なります。ここでは 9 歳未満に季節性インフルエンザ

のワクチンを初めて接種するときには2回接種が必要としています。

9 歳未満が接種するとき 1 回目と 2 回目の接種間隔はどの程度あげたらよいですか？

CDC は 2 回の接種間隔は 4 週間あけることが望ましいとしています。しかし、もし 21 日以上あいていれば 2 回目の接種は可能と考えられます。

1976 年ブタインフルエンザワクチンの接種を受けた場合は新型インフルエンザワクチン接種を受けたほうが良いですか？

1976 年ブタインフルエンザウイルスと新型インフルエンザウイルスは大きく異なります。1976 年のワクチンを接種した方が新型インフルエンザウイルスに免疫があるとは考えにくいと思われ、1976 年のワクチンを接種した方であっても新型インフルエンザワクチンを接種する必要があります。

卵アレルギーがある場合でも新型インフルエンザワクチンを接種したほうがよいですか？

卵アレルギーがある方は、新型インフルエンザワクチンを含むインフルエンザワクチンを接種することでアレルギー反応が出る可能性があります。下記の症状あるいは経験がある方はワクチンを接種する前に医師、専門家に相談しましょう。

- ・ じんましんや唇、舌の腫脹
- ・ 卵を食べた後に呼吸促迫(呼吸困難)になったことがある
- ・ 職場で卵への曝露による喘息の誘発や卵蛋白に対するアレルギー反応の誘発卵への過敏症がある

重症の喘息を有するお子さんはインフルエンザにより重篤な合併症を起こすこともありますので、これらの方や卵過敏症のお子さんへインフルエンザワクチンを投与する際には処方があります。

ワクチン供給と配布

注) 米国特有の具体的な配布計画については省略

2009 年 H1N1 ワクチンはいつ、どの程度利用可能となりますか？

2009 年 H1N1 ワクチンには接種用ワクチン、鼻スプレーワクチンがあり現在共に生産され、FDA により承認されています。連邦政府は 2.5 億ドーズの 2009 年 H1N1 ワクチンを購入しました。このワクチンは 10 月初旬には市場に出回り、毎週一定量のワクチンが追加で供給されます。ワクチン供給は多くの要因により左右されますので、この数値は頻繁に変更される可

能性があります。2009 年 H1N1 生ワクチンは 10 月 5 日に初めて投与されました。2009 年 H1N1 ワクチンの注射は 10 月 12 日の週から始まります。

ワクチン量は希望するもの全てに行き渡るだけありますか？

希望する方に行きわたる十分量のワクチンができる予定です。米国連邦政府は 2.5 億ドーズの 2009 年 H1N1 インフルエンザワクチンを生産しました。これは NIH の治験データ 6 ヶ月～9 歳には 2 回投与、10 歳以上には 1 回投与として計算されたものです。限られた量のワクチンは 10 月初頭には利用可能でその後徐々に生産され、接種可能になります。

ワクチンはどこで接種できますか？

州は各々ワクチン供給計画を作成しています。ワクチンは地域の保健部局が設置したワクチンクリニックや診療所、学校、薬局、職場などで接種可能です。さらに情報が必要な場合には次を参照してください。

<http://www.cdc.gov/h1n1flu/vaccination/statecontacts.htm>

季節性インフルエンザの供給については次を参照してください。

<http://www.cdc.gov/flu/about/qa/vaxsupply.htm>

季節性インフルエンザワクチンと H1N1 ワクチン

季節性インフルエンザワクチンは 2009 年 H1N1 インフルエンザに効果がありますか？

季節性インフルエンザは新型インフルエンザには効果が期待できません。詳細は次の HP でご確認ください。

<http://www.cdc.gov/flu/protect/keyfacts.htm>

このワクチンは季節性インフルエンザとは異なった方法で作られたのですか？

いいえ。このワクチンは季節性インフルエンザと同じ工程、同じ施設で製造されています。

季節性インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチンの同時接種は可能ですか？

不活化ワクチンは他のワクチン同様、肺炎球菌ワクチンを含むなどのワクチンと同時接種が可能です。新型インフルエンザ生ワクチンは同時に他の生ワクチン、不活化ワクチンとの同時接種が可能です。ただし、季節性インフルエンザ生ワクチンの同時投与は不可能です。

以前の病気

2009 年春以降、インフルエンザ様症状があった場合 2009 年 H1N1 ワクチン接種を受ける必要がありますか？

インフルエンザ様症状は他のウイルスによる病気でも起こる場合があります。インフルエンザにより多くの方が病気になっている場合でも他のウイルスによる病気は発生しています。インフルエンザによる病気か他のウイルスによる病気かを区別するためにはRT-PCRと呼ばれる特別な検査が必要です。この検査は通常診療室で行われる簡易キットとは異なるものです。今季、インフルエンザ様症状を有する大部分の方はRT-PCR検査をしていませんので、新型インフルエンザにかかったのかどうかはわかりません。このため、病気にはなったもののその原因が新型インフルエンザかどうかわからない場合で医師が勧めた場合にはワクチン接種を受けるべきと考えられます。新型インフルエンザワクチンの接種を受けることが望ましい方は過去にインフルエンザ様症状があったか否かに関わらず接種を行うべきです。インフルエンザに感染しRT-PCR検査で確定された場合にはある程度の免疫を有すると考えられ、新型インフルエンザワクチン接種を行わないという選択もできます。

しかし、ある程度免疫のある方に予防接種を行うことは害のあることではありません。インフルエンザの検査については次のアドレスでご確認ください。

http://www.cdc.gov/h1n1flu/diagnostic_testing_public_qa.htm

新型インフルエンザに感染したあるいはワクチンを接種したことで得られた免疫では季節性インフルエンザに対する免疫は十分にできません。季節性インフルエンザに対する免疫を得たい場合には季節性インフルエンザワクチンの接種が必要です。

予防

ワクチン以外に病気を拡大しない方法がありますか？

健康でいるために次のことに留意しましょう。

- ・咳やくしゃみをする場合には鼻や口をティッシュで覆いましょう。使用後のティッシュはゴミ箱へ捨てましょう。
- ・手を流水と石鹸でよく洗いましょう。特に咳やくしゃみをした後は良く洗いましょう。石鹸や水が使えない場合にはアルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。
- ・目鼻口をさわらないようにしましょう。
- ・体調の悪いときには外出を控えましょう。外出を控え、接触を避けることで感染の拡大を防ぐことができます。

学校閉鎖、人ごみを避ける、他の接触を避ける方法などについては公衆衛生部局のアドバイスに従いましょう。呼吸器感染症を引き起こすほかのウイルス感染の拡大を防ぐことができますので、このアドバイスは新型インフルエンザワクチンが開発された後でも有効です。

新型インフルエンザ感染に抗インフルエンザ薬を使用するのはどうですか？

抗インフルエンザ薬の使用については次の HP で確認してください。

<http://www.cdc.gov/h1n1flu/recommendations.htm>

抗インフルエンザ薬の使用についての Q&A もあります。

<http://www.cdc.gov/h1n1flu/antiviral.htm>

2009 年 H1N1 ウイルスを防止する上で自然療法(補助療法、代替療法)は推奨されますか？
最初に考慮すべき最も重要なステップはワクチンを接種することです。ワクチンは弱毒化あるいは不活化したウイルスを用いて免疫反応を刺激し免疫を高め感染を防ぐものです。現在の新型インフルエンザ予防法の根本に自然療法は含まれていません。症状を軽くするために、自然療法を使用したい場合にはかかりつけ医にご相談ください。

有効性が明らかになっている通常療法の代わり、(医療上の問題がある場合でも)受診を延期するために代替療法を用いるべきではありません。NIH は科学的情報、潜在的な副作用、各々に対する注意などを含む、代替療法に関する情報を提供しています。

<http://health.nih.gov/topic/AlternativeMedicine>

連邦貿易委員会(The Federal Trade Commission)は新型インフルエンザの感染を予防、治療する製品、特にウイルスを殺す、排除するような錠剤、空気清浄機、洗剤には注意するように警告を出しています。

カナダでの研究に対する対応

季節性インフルエンザの予防接種をすると新型インフルエンザにかかりやすくなると聞きましたが本当ですか？

CDC が米国、オーストラリアでの研究をまとめた結果では、新型インフルエンザ感染のリスクを上昇・軽減共にしないことが明らかになりました。反対にメキシコからの少数の報告では季節性インフルエンザの接種が新型インフルエンザにも防御効果があるという結果でした。最近、メディアは、カナダで季節性インフルエンザワクチンの接種が新型インフルエンザへの感染を上昇させるという研究結果を報告しました。他に、季節性インフルエンザワクチンの接種が新型インフルエンザ感染リスクを上昇あるいは低下させるという報告をしているものはありません。CDC は利用可能になるまでデータを追跡していきます。

季節性インフルエンザワクチンは接種したほうがいいですか？

全てのインフルエンザは重篤な病気を引き起こすことが知られており、ワクチンはインフルエンザ予防のための最も重要な手段です。季節性インフルエンザに感染しないためにも季節性インフルエンザワクチン接種をお勧めします。

季節性インフルエンザワクチン接種を受けたほうが良い集団はどのような方ですか？

ワクチンは季節性インフルエンザにより重篤な合併症を起こす可能性の高い方、季節性インフルエンザによる重篤な合併症を起こしやすい方と一緒に住まいの方またはケアを行う方に接種をすることが重要です。これには下記の方々が含まれます。

- ・ 6ヶ月～19歳まで
- ・ 妊婦
- ・ 50歳以上
- ・ 慢性疾患をお持ちの方
- ・ ナーシングホーム、長期療養施設入所中の方
- ・ インフルエンザの重篤な合併症をおこしやすい方と同居している、またはその方のケアをする方
 - 医療従事者
 - 合併症リスクの高い方と接触者する方
 - 6ヶ月未満のお子さんと接触する方、家庭外でケアを行う方